

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2018年 1月 31日

<p>テーマ名</p>	<p>機械学習及びディープラーニングの考察</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC大阪城</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>https://www.itc-osakajo.jp/?page_id=18</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)新保 康夫 電話番号:050-7103-1507 e-mail:info@shimchan.com</p>	<p>(担当者氏名)新保 康夫 電話番号:050-7103-1507 e-mail:info@shimchan.com</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>【背景・目的】 機械学習やディープラーニングは、ITにとどまらず事業や経営にも大きな影響を持ってくると考えられる。 しかしながら、トレンドとしてバズワードのようになって見受けられる。 機械学習やディープラーニングは簡単なものではなく、むしろ、難解なものである。とは言え、ブラックボックスとして軽薄短小な理解で経営やビジネスへの関わりを語って良いものではない。そこで今回は、機械学習やディープラーニングを正しく理解し、ビジネスへの関わりを考察する必要がある。</p> <p>【取り組み・成果】 機械学習・ディープラーニングについての取り組み・成果概要は、以下の通りとなります。</p> <p>(1)研修テキストの元となる資料はPowerpointにて作成し、報告書に紹介できるようなものを作成する。 ・機械学習・ディープラーニングについての概要を纏め、ビジネス活用例を調査し、 デモンストレーションプログラムを構築し、報告書に纏めた。</p> <p>(2)報告会を開催し、報告会にデモできるようなものを作成する。 ・2018年2月21日に報告会を開催する。そのためのプレゼンテーション資料を作成し、 報告会までに公開することとしています。</p> <p>(3)成果物を今後のビジネスに活用できるものにする。 ・報告会にて作成したプレゼンテーション資料を商工会議所に提案できる形式に 変更して、提案活動を行う予定であります。 ・デモンストレーションプログラムは、作成者が本プログラムをベースとし、 自社のソリューションとして提供できるもの開発する予定です。</p>	
<p>成果物</p>	<p>以下の成果物等となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「機械学習とディープラーニングの考察」報告書 ・2018年2月21日 報告会開催 ・同 プレゼンテーションテキスト <p>2018年2月14日～2018年2月28日までサイト公開予定 https://www.itc-osakajo.jp/?p=275</p>	

* 青字は事務局で記入します

<p>事務局受付日</p>	<p>2018/1/31</p>
<p>案件番号</p>	<p>S17003</p>